

令和4年度 八戸西スマートインターチェンジ地区協議会事務局会議【要旨】

1. 日時及び場所

日 時 令和4年12月19日(月) 15:00～
 場 所 八戸市庁別館8階 研修室 (Web 併用)
 出席者

団体名	所属名	職名
国土交通省 東北地方整備局 (Web 参加)	道路部	建設専門官
	道路計画第二課	計画係長
		技官
	青森河川国道事務所	課長
		専門職
東日本高速道路株式会社 東北支社	総合企画課	課長代理
	管理事業総括課	課長代理
		担当
八戸管理事務所	担当	
青森県三八地域県民局	道路施設課	主幹
八戸警察署	交通第二課	規制係長
八戸商工会議所	中小企業相談所	所長
上長地区町内会連合会		会長
八戸市 建設部	道路建設課	次長兼課長
		管理 GL
		担当

2. 議事

(1) 供用開始 (H31.3.23) から現在までの利用状況について

意見質問等なし

(2) 前回地区協議会 (R3.8.4) での意見に対する回答について

【東日本高速道路株式会社東北支社】

季節変動の分析について、今年はイベント割などもあって大幅に伸びている。アフターコロナの使われ方等引き続き動向分析していただきたい。

八戸北インターの利用増について、前後インターとその周辺を含めて交通動向の変化を分析していただきたい。

ETC2.0のデータを活用した分析について、実際の使われ方を踏まえて分析していただきたい。発着がどこにあるかを踏まえて、整備前後の時間短縮、使われ方の変化を分析していただきたい。

【事務局】

昨年の協議会でも発終について分析しているが、今後も引続き分析、整理いたします。

【上長地区町内連合会】

ETC2.0 データについて説明していただきたい。

【国土交通省 東北地方整備局】

ETC2.0 は、ETC の車載器の種類で、移動経路や速度等のデータを収集し、ビッグデータとして集約されるものです。全ての車に ETC2.0 が搭載されるわけではないが搭載数が多くなれば、より精度の高いデータを収集できるようになります。

このデータにより移動時間だけではなく、出発地や経路を、大型車、小型車分けて分析することができます。車の挙動、交差点での急ブレーキ等も記録されるため、交通安全対策にも活用されています。いろいろな分析ができるので、利用促進施策の検討等活用していただきたい。

【東日本高速道路株式会社東北支社】

ETC2.0 の普及率について補足します。ネクスコ東日本管内で高速道路を利用している車の約 3 割が ETC2.0 を搭載しています。内訳は普通車が 2 割、大型車中型車以上が 7 割弱です。

【事務局】

昨年、ETC2.0 のデータより、西スマートインターからの出入りが多い区域を抽出し、ポスティングで 220 事業所にスマートインター利用促進 PR チラシを配布した実績がございます。

(3) 利用促進方策の進捗状況について

【東日本高速道路株式会社東北支社】

三沢方面と盛岡方面という案内だが、八戸西 SIC 利用者は 60 キロぐらいまでの利用が多くあまり盛岡まで使われていない。入り口方面が違うこのスマートインターの誤進入に対しては、利用が多いインターを案内する方が有効だと思います。実際の利用状況を把握して対策を検討した方がよいと思います。

上北道路や三沿道が繋がり、使われ方が変わってきていると思います。長いもやニンニクの販路拡大、ドクターカーを使った広域的な防災など、新たな整備効果の発現についても時点更新していただきたい。

ネクスコ東日本では、平日朝夕割引という ETC 割引サービスがあり、利用回数に応じて最大 50% 割引となります。スマートインター利用促進 PR として、時間短縮に加えて料金割引もあるという情報も付加し、さらなる利用促進に繋げてもらいたい。

【事務局】

平日朝夕割引につきましては、新たに設置する SNS 等で発信していきたいと思います。

【上長地区町内連合会】

路面標示の文字が大きくなり、分かり易くなった。盛岡方面と書いてあれば大体の方が分かると思うが、もっと良い方法があれば実施してもらいたい。

国道を運転している時、インターチェンジ出入口交差点で、信号待ちをすることが多くなり交通量の増加を実感している。

【国土交通省 東北地方整備局】

積極的にいろいろ取り組まれていると感じている。交通量をみても良い傾向になっており、来年度はもっと伸びてくると思います。

取り組みの効果が発揮するように、路面標示や看板、ホームページ等をいかに結び付けていくかが大事だと思います。

【国土交通省 東北地方整備局】

帰省の際このインターを利用して非常に便利だと感じている。交通量も伸びていて良い効果が出ていると感じている。さらに利用方策やPRをすることによってもっと利活用されるように取り組んでいただければと思います。

3. その他

○八戸自動車道八戸西スマートインターチェンジ監視体制の見直しについて

【東日本高速道路株式会社東北支社】

高速道路の有効活用と地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため、スマートインターチェンジ等の追加インターチェンジの整備や利用時間車種車長制限の撤廃等、利便性の拡大が求められているが、一方で生産労働力人口の減少による監視員の人材確保や収益改善など管理効率化が必要とされている。全国的に料金所における集約型遠隔監視を進めていく必要がある状況になっている。

監視体制の見直しによる管理効率化およびコスト削減に努めるよう指導されており、八戸西スマートインターチェンジも監視体制を見直し、令和6年度を目指し八戸北インターからの遠隔監視に移行したいと考えている。

遠隔での対応が可能となるようカメラやスピーカーを整備し、遠隔監視場所となる八戸北インターチェンジから監視して、トラブルが発生した場合には遠隔で対応し、有人対応が必要な場合には、八戸北インターチェンジから監視員が駆けつけて対応する方法を取りたいと考えている。

来年から設備工事に入り令和6年度末には遠隔収受を開始したいと考えているが、半導体不足もあり機器の調達状況により工程は前後する可能性はある。